

(1/2)
2006年7月25日

報道関係者 各位

～ハーブ研究第1人者 山澤さんと共同開発、合成化学成分を含まない手作りコスメ誕生！～
肌と自然にやさしい新化粧品ブランド「ハーブ・ラボラトリー」を発売



天然成分100%の自然派コスメ「ハーブ・ラボラトリー」 早春の1ヶ月にだけ取れる白樺樹液を使用

株式会社 千趣会(本社 大阪市 代表取締役社長 行待裕弘)は、ハーブ研究の第一人者「ハーブ研究所 スパール」(山形県庄内町)代表の山澤清さんと共同開発した、合成化学成分を一切含まず肌と自然にやさしいオリジナル自然派化粧品ブランド『ハーブ・ラボラトリー』を、今年8月1日から発売いたします。

この『ハーブ・ラボラトリー』の商品コンセプトは、“究極の国産オーガニックコスメを作りたいの状態でお客様へお届けする”こと。合成着色料・香料はもちろん、乳化剤や防腐剤、アルコールや精製水なども一切使わず、一度も農薬散布されたことのない自家製の有機栽培ハーブと北海道美深町産「白樺樹液」を原料に、手間と暇を惜しまず、生産からボトル詰めまで、すべて山澤さんが管理のもと、ひとつひとつ丁寧に手作りされています。

1年のうち春先の1ヶ月にだけ採れる白樺樹液は、肌の活性化に役立つミネラルがバランスよく含まれていて、肌への浸透感がよいのが特徴です。化粧品のベースに使われているハーブは、鎮静・保湿に優れているカモミール、肌にハリを与えるローズマリー、収れん・抗菌作用のあるラベンダーの3種類。今回は、8時間の低温蒸留により天然ハーブ・エッセンスがたっぷり含まれた化粧水、ハーブ・エッセンスが香る山形蔵王産の蜜ろうが入ったクリーム、約40分の手こねから生まれるきめ細やかな泡立ちの石けんなど、スキンケア商品4種類を発売。今後は、シャンプーやリンスなどヘアケア商品の販売も予定しております。

千趣会は、天然成分だけで作ったオリジナル自然派化粧品ブランド『ハーブ・ラボラトリー』を通じて、健康と安全、LOHAS(ロハス)に対する関心の高い女性のニーズに応えるとともに、環境への配慮をより一層進めてまいります。



「ハーブ研究所スパール」代表：山澤清さん

山澤清さんは農薬散布指導の仕事に疑問を感じ、1980年、山形県庄内町に「ハーブ研究所スパール」を設立。最上川の河川敷に10万平方メートルの広大な農場を持ち、農場の土壌堆肥用に食用鳩を無菌で3,000羽飼育しています。この堆肥で農薬を使用せずにハーブを栽培し、そのハーブを鳩のエサにする「循環型有機農法」を確立。無農薬栽培によるハーブの生産、販売だけでなく、自家製ハーブを使った化粧品などの製造を続けています。

【ハーブ・ラボラトリー商品概要】

ブランド名	ハーブ・ラボラトリー
アクセス先	http://www.bellemaison.jp/kirei
販売開始日	2006年8月1日(火)
取扱商品	白樺Hローション 100ml / 3,990円(税込) 高い浸透力で潤い、肌にハリとツヤを与えます。 白樺Hクリーム 30g / 4,410円(税込) 薬品を使わず昔ながらの燻煙で蜂の巣箱を消毒している養蜂家の蜜ろうを使用。イスラエルのホホバオイルを使ったクリーム。 白樺Hソープ 100g / 1,575円(税込) 40分ほどひたすら手でこねて作られた100%植物性の石けん。赤ちゃんのようにデリケートな肌にも、気兼ねなく使えます。 白樺Hバスハーブ 3包 / 1,050円(税込) 天然のドライハーブ数種類をオリジナルでブレンド。ヘチマと白樺の葉のエキスがお湯に広がり、全身をしっとり潤います。
目標売上金額	初年度(2006年8~12月)1千万円

本件に対するお問い合わせ先
株式会社千趣会 大阪市北区同心 1-6-23 総務・IR広報部 IR広報チーム 田島・有江
TEL06 - 6881 - 3100 FAX06 - 6881 - 3050 E-mail m-tajima@senshukai.co.jp